

見逃すな。

岨手由貴子
『あのこは貴族』

松永大司
『エゴイスト』

吉野耕平
『ハケンアニメ!』

山中瑤子
『あみこ』

n
o
j
c
新
文
芸
坐
セ
レ
ク
シ
ヨ
ン

短編映画4作品
1日限定上映

2023.10.5 thu

アンダーウェア・アフエア

魚座どろろし

おとこのころ

エンドローラーズ

この監督たち、原点をみる

新文芸坐 × noJC

文化庁委託事業

若手映画作家育成プロジェクト

「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」は、文化庁の日本映画振興事業の一環として2006年度からスタートした人材育成事業です。ワークショップや短編映画製作等とおして、次代を担う若手映画作家を発掘・育成してきました。17年間で81名の作家がプロの映画制作スタッフとともに短編映画を完成させ、約4割が商業長編映画監督としてデビューしています。

今回は新文芸坐セレクションとして、近年の活躍が目覚ましい4名の監督作品を上映します。これからの日本映画を背負って立つ監督たちの「原点」をお見逃しなく!!

アンダーウェア・アフウェア

STORY

寂れた田舎に暮らす主婦・朝子。保育園の園長である夫とは別居中。5歳の息子と二人で生活している。一方、少女時代の朝子は、母と妹と都会の狭く汚い団地で暮らしていた。太ももの傷と、下着と、匂い…。ふたつの時代、それぞれの思いがけない一日が交差する。



©2010 VIPO

<2010年/30分/G/日本/配給:VIPO>

CAST 東加奈子、小野ゆり子、広瀬麻百合、綾野剛、山中崇

作家推薦団体 ENBUゼミナール 制作プロダクション ENBUゼミナール



監督 岨手 由貴子

SODE Yukiko

1983年、長野県生まれ。大学在学中の2003年よりENBUゼミナールで篠原哲雄監督に指導を受ける。同校で制作した短編「コスプレイヤ」が水戸短編映像祭、2005年PFFアワードに入選。長編映画『マイムマイム』が2008年PFFアワードで準グランプリとエンタテインメント賞を受賞し、バンクーバー国際映画祭、香港アジア映画祭の他、国内外の映画祭でも上映される。ndjc参加後は、2015年に長編商業デビュー作『グッド・ストライプス』が公開。本作で第7回TAMA映画賞 最優秀新進監督賞、2015年新藤兼人賞 金賞を受賞。2021年、山内マリコの同名小説を映画化した『あのこは貴族』が公開されスマッシュヒットを記録、国内外から高い評価を得た。監督・脚本を務めた『すべて忘れてしまうから』がDisney+にて配信。

おとこのこ

STORY

中学3年生の賢と透はイジメにあっている。他人からの愛情を欲しているのに、それをどうすれば得られるのかわからない賢は孤独にもがき苦しむ。そんなある日、透に理不尽な怒りをぶつけて落ち込む賢は、家庭教師の理恵のバイクに乗せられ、夜の街に向けて走り出す。



©2011 VIPO

<2011年/30分/G/日本/配給:VIPO>

CAST 清水尚弥、吉原拓弥、内田慈、磯貝奈美、吉永秀平、山下容莉枝

作家推薦団体 川喜多記念映画文化財団 制作プロダクション 松竹 映像製作部



監督 松永 大司

MATSUNAGA Daishi

1974年、東京都生まれ。大学卒業後、『ウォーターボーイズ』(01/監督:矢口史靖)などに俳優として出演。ndjc参加後は、同名現代アーティストを8年間追った記録映画『ビュー〜びる』を2011年に公開。2015年に初の長編劇映画作品『トイレのピエタ』が全国公開されてスマッシュヒットを記録。2015年にドキュメンタリー『オトキ』、2018年に『ハナレイ・ベイ』、2022年に『Pure Japanese』等が公開。最新作『エゴイスト』は公開されるや否や高評価を得て大ヒットとなり、アジアフィルムアワードでは最優秀助演男優賞を宮沢氷魚が受賞。現在、台湾、韓国、香港、北米での公開が決定している。

エンドローラーズ

STORY

葬儀屋の中本が喪主・昇から言われたのは「弟(故人)の仕事は工業用ロボットの金具製作。弟の孫に、爺さんがどんな仕事をしてたかわからせてやりたい。だから、ロボット使った映像を作れ」という難題。昇は更に「それに派手な音楽付けて式で流そう」「式にロボット呼べ」と無茶な要求を連発。お葬式はどうなる?



©2015 VIPO

<2015年/29分/G/日本/配給:VIPO>

CAST 三浦貴大、でんでん、久野雅弘、梅舟惟永、勝倉けい子

作家推薦団体 PFF 制作プロダクション 日活/ジャンゴフィルム



監督 吉野 耕平

YOSHINO Kohei

1979年、大阪府生まれ。CMやMVを中心に実写からアニメーション・CGまで幅広く制作。『夜の話』が2000年PFFアワードにて審査員特別賞を受賞。『日曜大工のすすめ』(11)が第16回釜山国際映画祭のショートフィルムスペシャルメンション受賞。ndjc参加後は長編オムニバス映画『スクラップスクラッパー』(16)内『ファミリー』等、短編・中編映画作品を撮り、映画『君の名は。』(16/新海誠監督)ではCG作家として参加。2020年に『水曜日が消えた』で劇場長編監督デビュー。2022年に『ハケンアニメ!』で再び監督を務め、長編映画監督3作品目『沈黙の艦隊』が2023年9月29日全国公開される。

魚座どうし

STORY

みどりと風太は、小学4年生。川を隔てた別々の町に住む、なんの接点もないふたり。あえて言えば、ふたりとも大人の事情に振り回されている。子供らしくいようと、大人がそうはさせてくれない。そもそも子供らしくして、何?分らないけど、明日は等しくやってくる。



©2020 VIPO

<2020年/30分/G/日本/配給:VIPO>

CAST 根本真陽、外川燎、山田キヌヲ、伊東沙保、カトウシンスケ

作家推薦団体 PFF 制作プロダクション オフィス・シロウス



監督 山中 瑤子

YAMANAKA Yoko

1997年生まれ。日本大学芸術学部中退。独学で制作した初監督作品『あみこ』がPFFアワード2017に入選。第68回ベルリン国際映画祭に史上最年少で招待される。ポレボレ東中野で自主配給にて公開し、同館のレイトショー最多動員記録を打ち立てる。監督作に、山戸結希監督プロデュースのオムニバス映画『21世紀の女の子』における一編、『回転てん子とどリーむ母ちゃん』(2018)、オリジナルテレビドラマ『おやすみ、また向こう岸で。』(2019)。

10月5日(木)1日限りの特別上映!上映後 吉野耕平監督トークイベント開催!

【プログラム】

10月5日(木)19:00~21:00 上映

* 上映後、吉野耕平監督トークイベント(30分程度)*

【ご入場料金】

一般1800円/各種割引1400円

※チケットは一週間前(9/28)よりオンライン・劇場窓口で販売

※場内でのお食事はご遠慮ください(飲み物可)

新文芸坐

東京都豊島区東池袋1-43-5マルハン池袋ビル3F
☎03-3971-9422 www.shin-bungeiza.com



チケットのご購入はこちらから



映画館公式

主催



Visual Industry Promotion Organization
特定非営利活動法人 映像産業振興機構

www.vipo-ndjc.jp